

教室名	上小スマイルふれんど
-----	------------

連絡先

場 所：妻ヶ丘地区公民館

電 話：0986 - 23-8592

F A X：0986 - 21-3039

E-mail：tumagaoka_kan@city.miyakonojo.miyazaki.jp

1 事業の目的・理念

○子どもたちに安全で安心して遊べる場（居場所）を提供できるよう、地域の大人の協力を得ながら、地域に根ざした体験・交流活動の機会の充実を図る。異学年の多くの友達と、自由に遊んだり学習する中で、お互いを思いやる心や社会の一員としての必要な知識・技能及び態度を育てる。

2 運営について

主な活動場所	上長飯小学校 体育館、家庭科準備室、運動場 家庭科室	平均参加人数	36.2人
開設時間等	毎週火・水曜日 年（85）回 午後2時30分～午後5時	対象学年	小学1年生～6年生
コーディネーター	活動内容 学校・保護者・地域団体・関係機関との連絡調整。 活動プログラムの企画・検討・運営。		（ 1 ）人
安全管理員	活動内容 安全で安心して楽しく活動するための見守り・指導。 活動プログラムの企画・検討・運営。		（ 4 ）人
学習アドバイザー	活動内容		（ 0 ）人

3 活動紹介（特色等）

○自由遊びを中心に行っているが、全員の交流を図るために、月1回みんな遊びを取り入れている。
○体育館での活動なので、ボール遊びなど体を思い切り動かし遊ぶことができる。
○季節に応じた行事や工作、簡単に作れてすぐに遊べるものの工作を取り入れ、スタッフ手作りの遊び道具も使用することで、手作りの良さを感じてもらえる機会を設けている。
○年度当初と、夏休みに親子参加の活動を設け、保護者との交流を図っている。
○時間に余裕のある時や子どもたちの様子をみて、終わりの会に数字早読み表や手遊びなどの導入方法を取り入れ、子どもたちの気持ちを落ち着かせてから帰宅させることもある。

4 参加者・保護者の感想・意見等

○家庭や学校の授業でできないことも体験でき、心と体でたくさんのことを学べ、成長させてもらった。
○異学年の子や違う学級の子とお友達になり、ボランティアの中高校生との交流もでき子どもの世界が広がった。
○宿題を見ていただき済ませてくれるので、帰宅後にゆったりと過ごすことができた。
○夏休み・冬休み中、活動が午前中だったので、子ども教室のある日は朝からだらだらしなかった。
○自分が1年生のときに上級生に優しくしてもらった思い出があり、1年生が入ってきたことで、上級生としての自覚が芽生えた。
○物騒な世の中なので、放課後安心して遊べる場があるというのはありがたい。
○子どもとの会話や帰ってきたときの表情や様子で、とても楽しんでいることが伝わってくる。

5 事業全体の成果と課題

- ① ○遊べる場（居場所）の確保が一応できた。特に学校との連携を密にし、放課後使用していない教室や体育館・運動場を使うことができた。
●来年度体育館建て替えのため、引き続き場所の確保や、内容の変更など新たな留意事項を考慮する必要がある。
- ② ○計画に基づいた様々な学習活動や体験・交流活動が楽しく実施できた。十分とは言えないが、社会性や自立性・人間性なども、学年相応に成長の跡が見られた。
●特に学習に対する根気強さや後始末などの態度育成に努めること。
- ③ ○地域の高齢者クラブの方・交通指導員・保護者など、大人の参画を得て、楽しく有意義な活動ができた。
●説明を聞いて実動に移るが、活動時間が少ないため成就感が薄いこともあったので、十分な活動時間の確保に努めること。
- ④ ○ボランティア協力者（中学生・高校生）の参加を得て、子どもたちも大いに喜び楽しい活動ができた。
●ボランティア活動は素晴らしいことであり、今後も中・高生の参加を継続して取り組むこと。南九州大学の学生との交流も叶えたい。



自由遊びの様子



みんな遊び（ジグザグ競争）の様子